

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

1 基本情報

公の施設名	杜のホールはしもと、城山文化ホール
指定管理者名	公益財団法人 相模原市民文化財団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
施設設置条例	相模原市立杜のホールはしもと条例、相模原市立城山文化ホール条例
施設の設置目的	杜のホールはしもと：市民が音楽、演劇等の芸術文化を鑑賞することができる機会及び市民が自ら芸術文化活動を実践することができる場を提供し、もって豊かな市民文化の創造に寄与するため 城山文化ホール：市民が行う様々な文化芸術活動及び交流活動を通して、豊かな市民文化の振興に寄与するため
施設概要	杜のホールはしもと ・所在地 相模原市緑区橋本3-28-1 ・敷地面積 8,626.18㎡ ・延床面積 9,601.10㎡(うちホール専有面積 6,638.14㎡) ・構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下2階地上9階建(内ホール部分：7～9階) ・主な施設 7階 ホール(定員535人：固定席531席、車椅子席4席)、セミナールーム1 8階 多目的室(移動席200席)、練習室1～3、音楽スタジオ、セミナールーム2 城山文化ホール 所在地：相模原市緑区久保沢2-26-2 敷地面積：2,646.05㎡ 延床面積：1,395.99㎡ 構造：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上2階建て 主な施設：多目的ホール(可動席296席、段床式ホール又は平土間形式として利用可能)、楽屋1・楽屋2、リハーサル室、ギャラリー、併設駐車場
施設所管課	市民局 文化振興課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	177,316	173,656	147,816	42,709			
利用料金合計(円)	75,786,811	77,388,229	68,726,962	30,967,962			

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
D	<p>【評価理由】 指標1・2の平均達成度が74%と80%を下回ることからD評価とする。指標1の企画提案事業の満足度については、「とても満足」と回答した方の割合が59.9%と目標値を下回るが、「とても満足」と「満足」と回答した方の割合は98.4%となっており、全体的な満足度は高いと言える。指標2の平均利用率については、文化活動の自粛等の影響を大きく受け、実績値が58.3%と昨年度から25ポイント以上低下した。</p> <p>【委員会意見】 指標2のホール利用率が低下したことがD評価となった一因となっているが、利用率の低下は施設運営上の問題ではなく、感染症の影響によるものであるため、コロナ禍においてはやむを得ないと捉えている。令和3年度においても緊急事態宣言等が発出され、外出自粛を求められる期間があることから、令和3年度の評価を行う際にはホール等の利用率に関する指標を評価の対象から外すことが妥当である。</p>

指標 1	
指標名 (単位)	企画提案文化事業来場者の満足度 (%)
指標式と指標の説明	指定管理者の企画提案で行う文化事業の来場者の満足度(「指定管理者が行う業務の詳細」に定める事業において回収された来場者アンケートのうち、最も高い満足度を回答した方の割合)を成果指標とする。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)			76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
実績値 (%)	77.5	74.6	66.9	59.9			
達成度 (%)			88.0%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%

※ (参考) 2 番目に高い満足度を含めた場合 (とても満足 + 満足)

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値 (%)	97.9	98.7	97.9	98.4			

指標 2	
指標名 (単位)	杜のホールはしもと(ホール、多目的室)及び城山文化ホール(多目的ホール)の平均利用率 (%)
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、(利用日数・利用可能日数)にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	75.0	76.0	83.0	83.0	84.0	84.0	84.0
実績値 (%)	81.9	85.0	83.6	58.3			
達成度 (%)	109.2%	111.8%	100.7%	70.2%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>【評価理由】 目標達成度が125%に達していることからS評価とする。令和2年度は施設の利用休止や市設置施設におけるイベント開催を8月末まで中止した影響から事業を実施できる期間が9月以降の7か月間に限られたものの、企画提案事業を21回実施し、コロナ禍においても施設の特性や設置目的に即して文化芸術を鑑賞する場や交流活動を行う場を提供できていることを評価する。</p> <p>【委員会意見】 事業の中止や延期を余儀なくされた中でも事業内容が充実しており、大いに評価できる。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！ vol.3	9月29日(火)	クラシック 城山文化ホール 多目的ホール 1回 10人 事業開始から7年目を迎えたが、人気は衰えず市内外に定着してきている。感染症拡大の影響で演奏機会が減っている中、ホールでのベヒシュタイン演奏体験の場を提供できたことは、文化活動支援につながっている。また応募者が練習利用を申し込むケースもあり、施設アピールに寄与している。	○
シリーズ杜の響きvol.44 竹澤恭子ヴァイオリン・リサイタル	10月31日(土)	クラシック 杜のホール 1回 188人 ホールの特徴を活かした事業として、杜のホールの看板事業であり、優れた質の高い舞台芸術を鑑賞する事業の「シリーズ杜の響き」を感染対策に努めながら実施した。	◎
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！ vol.4	11月20日(金)	クラシック 城山文化ホール 多目的ホール 1回 9人	○
もみじホール城山 市民ステージ2020 (9月22日振替公演)	11月28日(土)	その他 城山文化ホール 多目的ホール 1回 116人 ホール利用者が参加し、交流を深める機会として開催し、新型コロナウイルス感染症対策においては、密集を避けるため3部構成とし、集合時間や楽屋の使用時間を分散させるなど、安全に開催できるよう協力した。	◎
第20回さがみはら若手落語家選手権第1回予選会	1月16日(土)	伝統芸能 杜のホール多目的室 1回 68人	○
第20回杜のホールはしもとアンサンブルコンサート	1月23日(土)	クラシック 杜のホール 1回 170人 市民の文化活動を支援する事業として、市民自らが参加して創りあげるステージ等を積極的に支援し、市民に音楽を気軽に楽しむ機会を提供することで地域の文化振興に貢献した。	◎
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！ vol.5	1月28日(木)	クラシック 城山文化ホール 多目的ホール 1回 15人	○
第20回さがみはら若手落語家選手権第2回予選会	1月31日(日)	伝統芸能 杜のホール多目的室 1回 84人	◎
第20回さがみはら若手落語家選手権第3回予選会	2月14日(日)	伝統芸能 杜のホール多目的室 1回 83人	◎

相模原音楽家連盟×もみじホール城山「ピアノって美しい!!～ベヒシュタインとたどる名曲たち～」	2月25日(木)	クラシック 城山文化ホール 多目的ホール 1回 133人	◎
		地域のニーズに応える事業として、クラシック入門編のレクチャーコンサートを手軽な価格で楽しんでもらうため実施した。今回は、ベヒシュタインピアノに焦点をあてる企画であったが、来場者の多くにその魅力が伝わり、もみじホール城山のPRにもつながった。	
第20回さがみはら若手落語家選手権第4回予選会	2月27日(土)	伝統芸能 杜のホール多目的室 1回 87人	◎
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう! vol.6	3月13日(土) 3月14日(日)	クラシック 城山文化ホール 多目的ホール 2回 14人、22人	○
第20回さがみはら若手落語家選手権本選会	3月14日(日)	伝統芸能 杜のホール 1回 241人	◎
		20回を迎え、取材が増えるなど注目度も上がっているほか、「3大若手落語家コンクール」の一つとしても浸透しつつあり、地元にも定着した事業となっている。	
もみじホール城山 在日米陸軍軍楽隊コンサート	3月22日(月)	軽音楽 城山文化ホール 多目的ホール 1回 115人	◎
		地域のニーズに応える事業として、新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、例年、無料で実施し人気が高い当事業を実施した。	

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
自動販売機設置	4月から1年	・杜のホールはしもと…5台 ・城山文化ホール …2台	○
第19回さがみはら若手落語家選手権本選会	12月23日(水)	伝統芸能 杜のホール 1回 212人	◎
		中止が決定された当初から、開催希望の声を多く受けており、優勝者を決めるべく開催した。令和初の優勝者は、選手権初の女性落語家となり、マスコミにも取り上げられるなど大いに盛り上がり、地域活性化に貢献できた。	

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>【評価理由】</p> <p>目標達成度が110%に達していることからS評価とする。施設の管理、清掃、スタッフ対応等が適切に行われ、来場者が快適に利用できる環境が高い水準で維持されていると評価する。今年度から施設入口での検温や手指消毒液の設置、施設内消毒の追加といった対応を行っており、施設として万全の感染症対策を講じていることも満足度の高さに寄与していると考え。</p> <p>【委員会意見】</p> <p>感染防止対策を講じながら適切に施設運営が行われ、利用者が安心して活動したり、芸術鑑賞できる場を提供できている。</p>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	施設利用者に対するアンケートの実施 調査手法:利用者へのアンケート用紙配布 調査時期:2020年12月1日(火)~2020年12月27日(日)(もみじホールは12月28日(月)まで) 配布枚数:215枚(回収枚数215枚、回収率100%)
目標値の基準	5段階評価のうち、「とてもよい」、「よい」、「ふつう」と回答した方の割合の合計

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値 (%)	95.0	95.8	98.6	99.0			
達成度 (%)	105.6%	106.4%	109.6%	110.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	施設にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については会議で共有を図り、対応に努めている。
HP お問い合わせフォーム	通年	施設のHPIにお問い合わせフォームを設置し、利用者の方が質問や相談をしやすいような取り組みを行っている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>【評価理由】 令和2年度は、本体事業収支、全体収支ともに黒字となり、収支状況が改善した。利用料金の減収や感染症対策に伴う新たな支出などがあったが、経費節減や市の補助金制度の活用により補っている。</p> <p>【委員会意見】 指定管理者本体の財務状況は概ね良好である。経営状況については正味財産増減額はプラスであるものの、協力金や補助金等の影響が大きいので、今後の見通しに若干の懸念が見られる。</p>

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)		232,215	221,497	222,125
指定管理料		138,707	140,605	142,510
利用料金収入		77,388	68,727	30,968
その他の収入		16,120	12,165	48,647
支出 (b)		221,897	216,178	203,098
人件費		67,738	70,092	68,718
本社管理経費			6,789	6,186
その他の支出		154,159	139,297	128,194
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		10,318	5,319	19,027
自主事業収入 (d)			1,463	1,330
自主事業支出 (e)			347	1,127
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		0	1,116	203
全体収支 【(c)+(f)】		10,318	6,435	19,230
備考	令和元年度分の新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う損失補償6,460千円は収入に計上していない。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和2年10月14日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

施設の設置目的や、条例等を十分に理解し、適切な施設利用事務を行い、施設の催し物の情報や空き日の情報をホームページで公開するなど利用者増加に努め、これまで同様に多くの方に利用いただいている。また、施設や設備を保つために日常管理を行うとともに、定期点検を計画的に実施し、安全な施設を維持することができている。

施設利用にあたっては、国や県、相模原市の利用条件に基づき、感染拡大防止策（「ホール等施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」）を定め、利用者への周知を行い、コロナ禍においても安心して施設をご利用いただける体制とした。

また、相模原市からの指定管理者制度導入施設協力金等の交付を受け、利用者に影響なく施設を稼働させることができた。

施設内各所への消毒液の設置、来館者の検温を行うため施設入口にタブレット型検温器やサーマルカメラ等を導入した他、楽屋等に空気清浄機の設置、施設窓口の受付カウンターに透明アクリル板を設置する等の感染対策を図った。これらの、新型コロナウイルス感染症対策については、相模原市の指定管理者制度導入施設コロナ対策事業補助金等を活用して行った。

事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業の中止・延期が相次いだが、感染症対策を十分に施した上で、施設ごとの特徴をふまえた事業展開を図ることができた。社のホールでは、響きの良さを活かした「シリーズ社の響き」や人気のある出演者によるコンサート、若手の落語家を支援する若手落語家選手権など、優れた質の高い舞台芸術を鑑賞する事業を実施した。また、城山文化ホールにおいては、毎回定員を超える応募がある「世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！」や「もみじホール城山 在日米陸軍軍楽隊コンサート」など地域のニーズに応える事業を実施し、多くの市民に芸術に触れる機会を提供できた。

9 所管課意見

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により施設の利用休止や主催事業の中止など、施設の運営において多大な影響を受けたが、利用者への利用取消時の説明や料金還付などの対応を昨年度に引き続き適切に行うとともに、業種別ガイドライン等に即した感染症防止対策を講じて施設や事業を円滑に再開したことを高く評価する。また、令和2年9月～12月までの間、感染症拡大を受けて施設の利用を取りやめる利用者に料金を全額還付する対応を指定管理者の提案で実施するなど、利用者寄り添った運営を行っている。

ホール利用率については、文化活動の自粛等の影響を受け昨年度より大きく下がったが、城山文化ホールにおいては利用率の下げ幅が市の文化施設の中で最も低い5.3ポイントに留まっており、利用率向上の取組が成果として表れている。

事業面に関しては各施設において、施設の設置目的や特性を踏まえた事業を実施しており、社のホールで長年力を入れて実施してきた若手落語家選手権は伝統文化を育む場として定着するとともに、結果がマスメディアで報道されるなどシティセールスにも寄与している。また、城山文化ホールではセールスポイントの一つであるベヒシュタインのピアノを軸に、地域に根差した事業展開を行っていることも評価できる。

10 選考委員会意見

コロナ禍においても最大限の努力で施設運営をしており、高く評価できる。感染症防止対策についても適切に行われている。事業の中止や延期を余儀なくされた中でも、継続的に実施しているクラシックや伝統芸能の公演を実施し、施設の特性を生かした事業展開がなされ、内容が充実している。感染症の影響を受けて各施設の運営は厳しい状況にあるが、困難に負けずに増々努力することを望む。

総合評価（自動判定）

A

(70/100)

